

会社名：株式会社朝日オリコミ大阪（URL：http://www.ao-osaka.co.jp/）

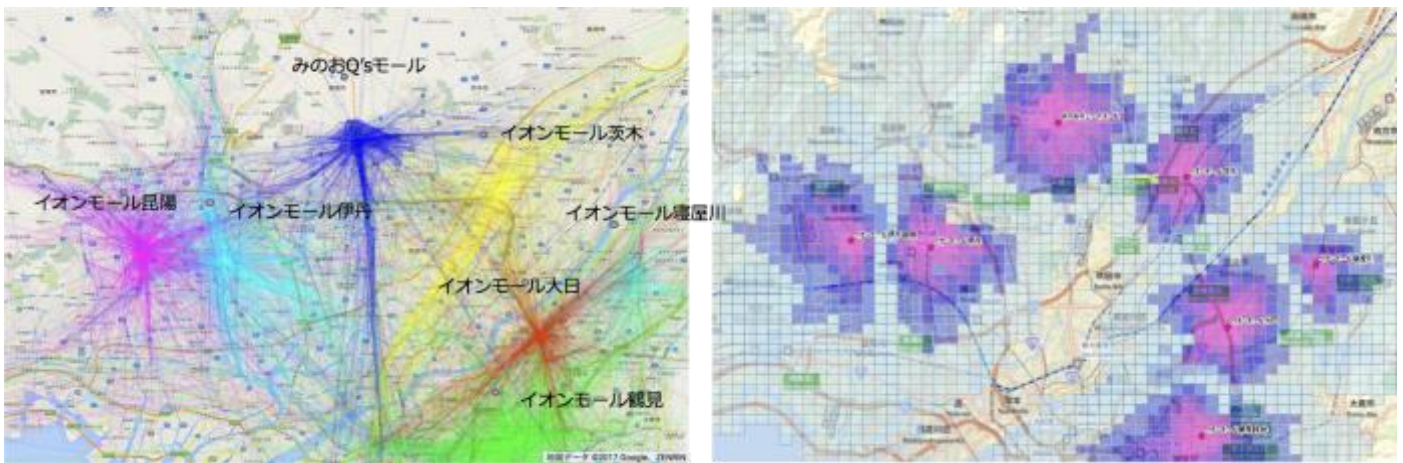
本社：大阪市北区中之島 2-3-18 中之島フェスティバルタワー19階

設立：1971年1月 従業員数：155名（2016年4月時点）



株式会社朝日オリコミ大阪様では、「ポイント型流動人口データ」を利用して、商圈の把握、移動経路の分析などエリアマーケティングに役立てるための資料作りや分析手法の検討を進めています。

活用法 1: 小売り商圈の把握



上図は、関西北摂エリアの大型ショッピングモールの商圈を「ポイント型流動人口データ」を利用して可視化したもの(左)と、従来の数学モデルであるハフモデルの計算結果(右)とで比較したものです。従来モデルに比べて移動経路が可視化され、川や鉄道等の影響を加味したよりリアリティのある商圈の把握ができています。

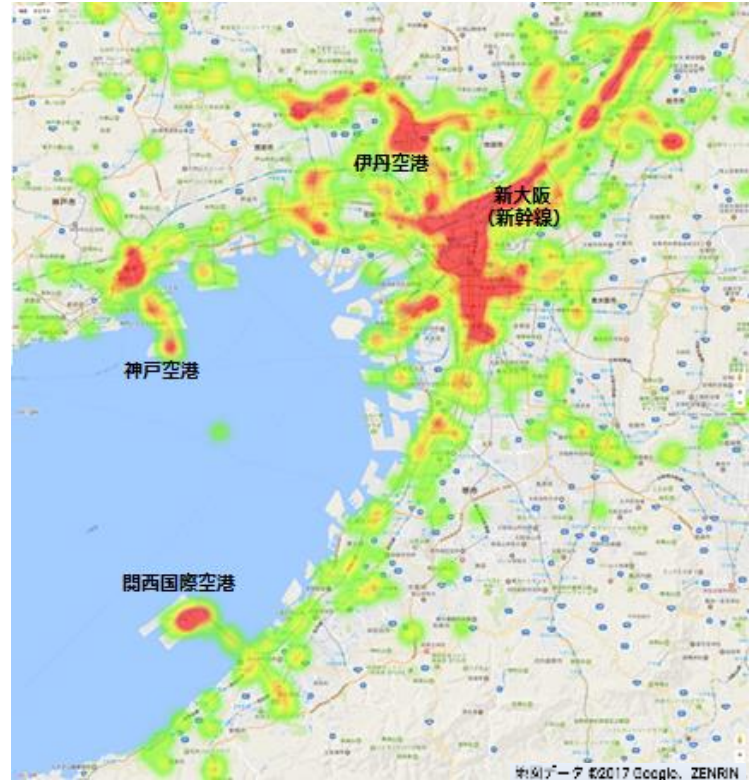
活用法 2: 店舗訪問者の経路の把握



また左図は、上図のうちの1店舗の来店者の経路をヒートマップ化したものです。赤いほどより多くの方が通過、滞留しています。道路や鉄道に沿った来店経路の様子を把握することができます。

活用法 3 : 旅行者の軌跡

右図は、東京ディズニーリゾートへの旅行者の関西での行動をヒートマップ化したものです。赤いほどより多くの方が通過、滞留しています。旅行者の少ないエリアや沿線、伊丹空港の利用者、関西国際空港の利用者、新幹線の利用者の居住エリアを解析することで、広告実施エリアの選定の参考資料としてご活用頂きました。



活用法 4: 移動経路からエリア間の関係性をさぐる

左図は、京都におけるエリア間の移動の様子を可視化したものです。

ポイントのクラスタリングによって抽出されたランドマークと、ランドマーク間の移動パターンの解析により、エリア間の関係性を探ろうとする試みです。また、

ポイントデータをクラスタリングすることによって商業施設や宿泊施設などが抽出されています。このようにデータ処理によって注目すべき地点を抽出する手法についても検討をすすめています。

株式会社朝日オリコミ大阪様では、以上のようなエリアマーケティングにおける当社「ポイント型流動人口データ」をご活用頂いております。今後もエリアマーケティング用途を中心とした活用を行っていただくとともに、事例や解析手法について当社と連携させていただく予定です。

